

サーキュラーマテリアル製造フロー

茨城、川崎、姫路、北九州の循環資源製造所で、固体・粉体系の産業廃棄物を調査し、セメント原料および燃料を製造しています。

固体・粉体産業廃棄物のリサイクル製品

セメント原燃料



【インプット】

様々な産業から排出される汚泥、廃プラスチック・ばいじん・燃え殻などの固体・粉体系の産業廃棄物から、セメント原燃料を製造します。



【分析】

受入予定の産業廃棄物について、事前に含有成分や性状などを調べます。また、異物等が入っていないかも分析します。

【配合検討】

分析結果から受入可能と判断した産業廃棄物について、ユーザー規格に合わせた成分調整の配合表を作成します。



【破碎・粉砕】

大きなものや固いものは破碎機や粉砕機で細かくします。



【調合】

配合表に基づいて様々な産業廃棄物を調合します。製品ユーザーの規格に合わせて、成分値の細かな調整を行います。この際、フルイ機などで粒度調整も実施します。

【分析】

納品規格に適合した製品は最終出荷を待ちます。



【アウトプット】

セメント原燃料として出荷されます。カロリーの少ないものはセメント原料である粘土の代替になります。カロリーを多く含んでいるものは燃料として石炭の代替として使用された後、燃え殻はセメント原料として利用されます。

※写真はセメント原料系の製品です